

5 単元構想図

○単元の目標

分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにするとともに、数についての感覚を豊かにする。

しなやかに考える子ども像	<ul style="list-style-type: none"> 分母がちがっても大きさの等しい分数がたくさんあるね。 分母と分子の数を変えていけば、大きさの等しい分数を作ることができるね。変え方にはきまりがあるのかな。 大きさの等しい分数はいくらでも作ることができるのかな。 				<ul style="list-style-type: none"> 同じ大きさなのに分数の表し方がいろいろあると、大きさが分かりにくいよ。 一番小さい表し方はないかな。 一番小さい表し方にするには、分母と分子を同じ数でわるんだね。 同じ数は、最大公約数にすればよさそうだ。 				<ul style="list-style-type: none"> 分母をそろえると分子の大きさを比べることができそうだ。 4と5の公倍数を分母にすると、分母をそろえることができる。 3つの分数でも通分できるのかな。 分母を最小公倍数にすれば通分したときに一番小さい表し方ができるね。 				<ul style="list-style-type: none"> $\frac{1}{2}$は1Lの半分だから、たし算をすれば半分をこえるはず…。 分母をそろえれば計算できるから、通分すればできるのではないかな。 分母をどちらも10にして $\frac{1}{10}$の何こ分かで $\frac{1}{10}$えると…。 				<ul style="list-style-type: none"> 通分して計算したら、分母と分子が約分できそうだな。 答えが約分できるときは約分しよう。 通分のときに分母を最小公倍数にしておけば約分が少なくてすむかもね。 				<ul style="list-style-type: none"> 帯分数の計算だから、整数部分を考えないといけないな。 整数は整数だけでたし算できる。 仮分数に直して計算してもいいね。 				<ul style="list-style-type: none"> 前と同じように帯分数の計算だね。 整数は整数だけでひき算できる。 仮分数に直して計算してもいいね。 				<ul style="list-style-type: none"> 分数か小数、どちらかにそろえれば計算できそうだ。 分子÷分母で分数を小数にすれば、小数+小数で計算できる。 小数第1位までなら分母が10の分数にすれば、分数+分数で計算できる。 				<ul style="list-style-type: none"> 45分は1時間より小さいから、答えは1より小さくなるね。分数で表すのかな。 時計の図を使うと分かりやすいね。 「分」と「時間」だけでなく、「秒」でも使えるね。 				<ul style="list-style-type: none"> この問題は前に学習した～を使えば解けるね。 			
	時	《第1小単元》				《第2小単元》				《第3小単元》				11	12																									
目	1	2	3(①1組)	4	5(①2組)	6	7	8	9(②3組)	10																														
標	分数の分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさは変わらないことを理解する。	「約分」の意味について理解する。	「通分」の意味について理解する。		異分母の分数の加減計算の意味を理解し、その計算ができる。	約分ができる場合の加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。	帯分数の加法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	帯分数の減法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	分数と小数の加減混合計算ができる。	分数を用いた時間の表し方を理解する。	学習内容を適用して問題を解決する。	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。																												
単元の構想	考え方	分数の性質や単位分数,既習の学習をもとに考える																																						
	算数的活動	数直線や面積図を使った同値分数の理解				通分や約分の意味と方法の理解・確認				帯分数⇔仮分数の確認		小数⇔分数		時計の図を使って分数を用いて時間を表す	学習内容の理解・習熟																									
	学習内容	大きさの等しい分数を作る	約分概念理解	通分概念理解		異分母分数のたし算やひき算の仕方の理解								「～分」を分数を用いて時間の単位で表す																										

既習事項	分母をそろえれば（単位分数をそろえれば）たし算やひき算ができること											
	分数の性質（分数の分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさは変わらないこと）											
評価規準	考 大きさの等しい分数間にあるきまりを見出し、大きさの等しい分数のつくり方を考えている。	関 約分すると分数の大きさが分かりやすいことよさに気づいている。	知 分数の性質を使った、分数の大きさの比べ方を理解している。	技 異分母の分数を通分することができる。	考 異分母の分数の加減計算の仕方について、分母をそろえることの意味を考え、説明している。	知 答えが約分できるときは約分すると大きさが分かりやすいことや、分母を最小公倍数にすると計算しやすいことを理解している。	考 帯分数の加法計算の仕方を、帯分数の構造や既習の真分数の計算を基に考え、説明している。	技 帯分数の減法計算ができる。	知 分数と小数の加減混合計算では、小数を分数で表せばいつでも計算できることを理解している。	技 時間の単位を変えて、分数で表すことができる。	技 学習内容を適用して、問題を解決することができる。	知 基本的な学習内容を身に付けている。